

# 高退協ニュース

No. 196  
2015年  
9月1日  
発行  
協退局  
高知事務

〒780-0850

高知県高等学校退職教職員協議会  
高知市丸の内2丁目1番10  
高知城ホール高教組交付  
連絡先 Tel. 088-822-6822  
郵便振替口座 〇二六五〇二二二一八九三

## 高退協40周年夏季学習会

教育の現状は・・・谷内康浩さん（伊野商）と  
米満敏孝さん（高教組書記長）

中国残留孤児とその家族たち・・・小島真子さん  
～とともに学んで～

橋元陽一



講師の谷内康浩さん

8月20日午後1時半より、39名の参加者で開催しました。倉橋会長が開会のあいさつで、8月14日「安全保障関連法案に反対し、その廃案を求める高知県教育関係者のアピール」で記者会見した経過報告を行いました。

第1講座では、「今、日本の教育は？今、高知の教育は？」と題して、谷内康浩さん（伊野商業高校）から高校現場の生徒と教職員をとりまく状況について、米満敏孝さん（高教組書記長）から教職員の勤務実態調査や高校教育政策をめぐる動向について、生々しい報告がありました。入学してくる生徒が多様化している実態、すべての全日制・昼間部の全学年を対象にした学力定着調査が導入され、2019年度からは「高等学校基礎学力調査」、2020年度から大学入試センター試験に代わる「大学希望者学力評価テスト」が実施されます。テスト偏重の教科教育の一方で、自民党政務調査会の提言を丸ごと受け入れたような教育政策を文科省が新科目「公共」の創設、副教材の配布など18歳選挙権に伴う教育の統制強化も狙われていると。

また、教職員の多忙化も深刻で、さらに年休や出張何い、諸手当の申請など、すべての業務をパソコン処理で対応する事態になっている。加えて、人事評価制度と昇給制度が一体化し、教職員の管理統制が一段と強められている。こうした中、改めて教職員組合の存在が問い直されているし、厳しい情勢だからこそ、継続して組合活動が続けていくことの重要性を語られました。

第2講座は、「中国残留孤児とその家族たちとともに学んで」と題して、小島真子さんが講演しました。退職してから8年間、ボランティア講師で通う朝倉と竹島町の日本語教室で共に学んだ帰国子女の方々の生きざまを、旧満州で小学時代を過ごして引き上げてきた自らの体験と重ねながら、語りられました。講師を引き受けるきっかけは現職時代にバンテラディシユからの鍼灸師養成課程の留

## 「安保関連法案廃案を求めるアピール発表」

教え子を再び戦場に送らない！安保関連法案＝戦争法案に反対し、廃案を求める教育関係者のアピールを倉橋会長、田中事務局長、小松副会長、小記者会会長、小記者会副会長、小記者会委員が賛もえ



ました。高退協から倉橋会長、田中事務局長、小松副会長、小記者会会長、小記者会副会長、小記者会委員が賛もえ

師養成課程の留



講師の小島真子さん

はしげん奮闘記

## 2度目の県議選に挑戦して③

橋元陽一

中国に置き去りにされて生き抜いてきた方々の生きざまを紹介された。戦時下で、いのちを大切にす中国民の方との出会いがあったこと、そして生きることへ希望をもつことが大切さであると、しかし2度と同じ過ちを繰り返してはならないと。すっかり学習した後は、28名の参加で講師を囲んで、初めての参加、久しぶりの参加、常連の参加の皆さんで交流を深めました。

哀悼  
岡林 良 さん  
8月1日逝去  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

高岡郡7町村を歩いてきた4年間は、誇りをもって生き抜いて来られた多くの方々に、候補者としてお会いさせて戴く日々の連続でした。十和では地元の高校を卒業してから、紙漉き職人としての道を歩む20代の青年は、楮と三楮を栽培し、伝統の十和泉貨紙を濃く知識と技術を継承し、東京に出荷しています。津野町宮谷で80代の元議員の方は、高レベル廃棄物処理施設誘致に反対と原葬廃止の声を上げ、活動が続けられています。中土佐町矢井賀でカツオ漁船元船長が「戦争は絶対いっかん」と支持を訴え、今回は支援するからと地元を一緒に歩いて戴きました。大野見で元議員の方は、「いま、原発を廃炉にして自然再生エネルギーに切り替えたいために、山（植林）を生かす道を探ろう」と、一緒に活動されてきた元小学校校長は、「これまで自民党を支持してきたが、今の安倍政権の動きは危険だ。動きを止めるために、ぶれない共産党に頼張っ